

東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘地区）



東京臨海広域防災公園の概要

整備の経緯

都市再生プロジェクト第1次決定（平成13年6月）

「東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備」の決定

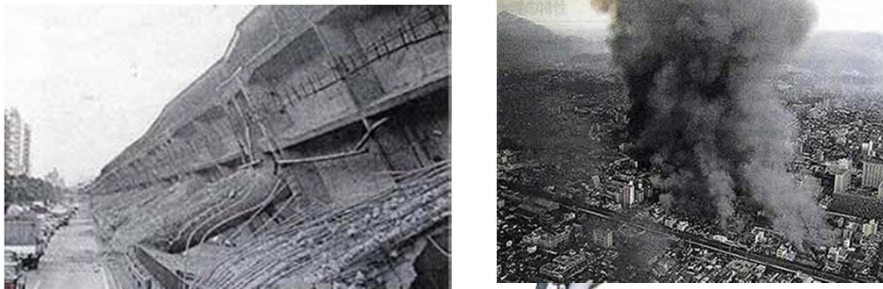
↓
 「首都圏広域防災拠点整備協議会」の設置
 関係府省庁と関係都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市）による整備方策の検討

↓
 有明の丘地区（東京都江東区）、東扇島地区（神奈川県川崎市）に
 「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」の整備を決定

↓
 平成18年3月施設建設着手、**平成20年6月竣工**（両地区）



阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発災）



【経験(例)】

- 基大な被害（戦後初の大都市直下型地震）
- 情報網の寸断、行政機能のマヒ状況の発生 等

【対応(例)】

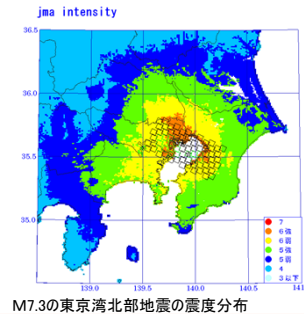
- 災害対策基本法の改正（現地災害対策本部の法定化を含む）
- 初動体制・情報システムの整備
- 消火・救出活動に係る連携体制の強化、災害医療
- 救援物資の受入体制の充実 等

首都直下地震応急対策活動要領

平成18年4月中央防災会議決定
(平成22年1月修正)

背景

- ▶ 首都直下地震対策大綱(平成17年9月)
 - ・政府の広域的活動の手続き、内容等を具体化した活動要領の策定
 - ・被害想定に基づき、あらかじめ地域ごとの派遣内容や必要量等を計画
- ▶ 主な対象地震: 東京湾北部地震(M7.3)



政府の活動体制

緊急災害対策本部の設置

設置場所の優先順位

- ① 首相官邸
- ② 中央合同庁舎5号館
- ③ 防衛省
- ④ 立川広域防災基地

緊急災害現地対策本部の設置

東京湾臨海部基幹的広域防災拠点施設(有明の丘地区)

※「有明の丘」が使用不能時の設置場所は東京都庁

緊急災害現地対策本部設置場所



首都中枢機能継続性確保のための活動

首都中枢機関

- ・職員及びその家族の安否確認、直ちに要員の参集
- ・首都中枢機能継続のための体制を整え、業務継続計画に基づき活動を的確に実行

緊急災害対策本部、現地対策本部

- ・首都中枢機関の機能継続のため、情報を収集・分析して支援策を検討の上、必要な措置を実施

主な応急対策活動

各省庁等の役割を明記

○救助・救急・医療・消火活動

(警察庁、防衛省、消防庁、海上保安庁、厚生労働省、文部科学省)

<関係都県に対する広域的応援>

- ・救助・救急活動の実施及び要員の派遣
- ・災害派遣医療チーム(DMAT)・救護班の派遣、広域医療搬送
- ・非被災道府県に対する消防応援の要請



○食料、飲料水等の調達

(厚生労働省、農林水産省、経済産業省、総務省、消防庁、防衛省、海上保安庁)

- ・主要な物資を中心とした調整体制の整備
- ・緊急度、重要度に応じた調達活動



○緊急輸送のための交通の確保・緊急輸送活動

(警察庁、国土交通省、海上保安庁、水産庁、防衛省、消防庁)

<交通の確保>

- ・道路交通規制
- ・道路の応急復旧
- ・航路障害物の除去

<緊急輸送活動>

- ・自動車運送事業者等に対する緊急輸送の要請
- ・船舶、航空機を用いた緊急輸送
- ・東京湾臨海部基幹的広域防災拠点(東扇島地区)における緊急輸送活動の支援



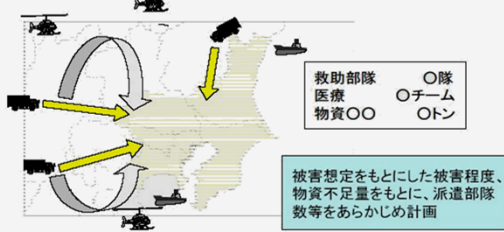
「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画 (概要)

○被害想定等をもとに、**あらかじめ地域ごとの部隊派遣内容、物資調達内容、部隊や物資の緊急輸送ルート等を計画**

○地震発生後、被災状況等の情報がない段階から、直ちに**計画に基づき部隊派遣や医療活動、物資調達を開始**

○救助、医療等の応急対策の緊急実施。被災状況等の情報に応じ活動内容を修正

[活動のイメージ図]



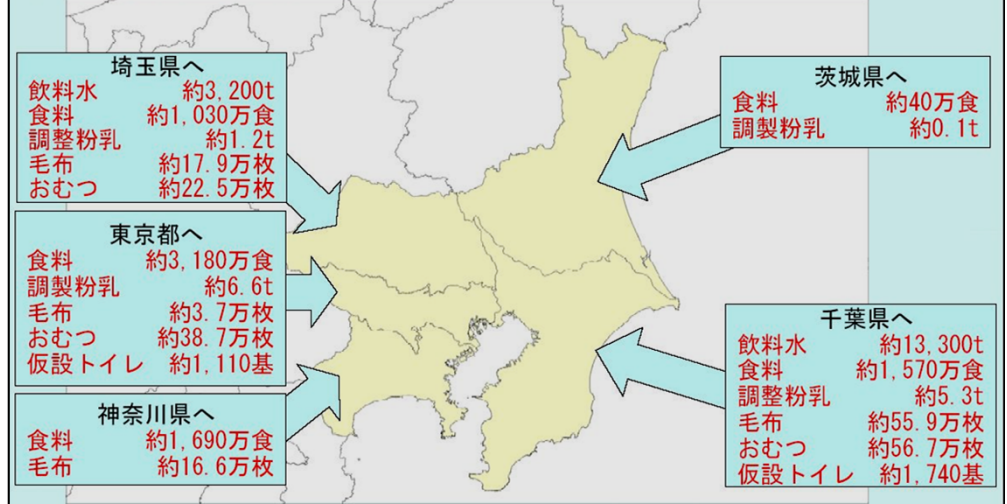
[被害想定概要]

全壊・焼失棟数	約85万棟
死者数	約1万1千人
重傷者数	約3万7千人
避難所生活者数	約460万人 (約1日後)

(冬夕方18時、風速15m/sのケース)

物資調達

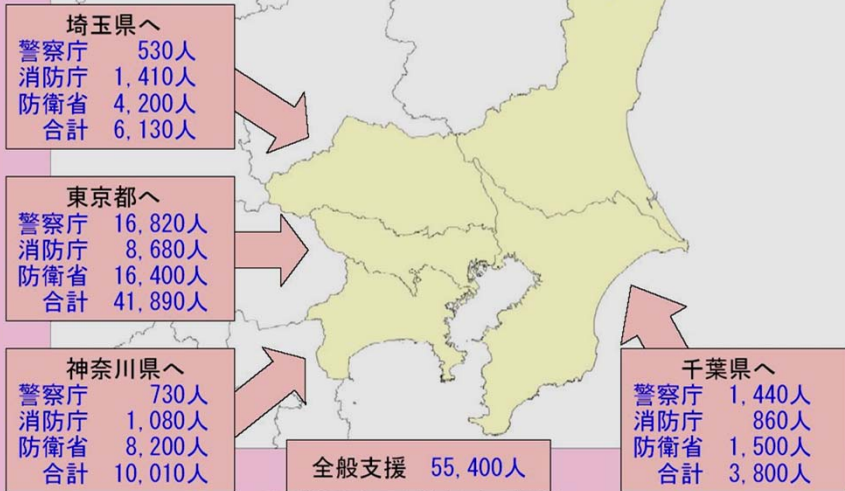
※物資調達量は発災後1週間分



応援部隊の派遣

※応援部隊の派遣数は最大値

派遣規模 (合計)
117,240人



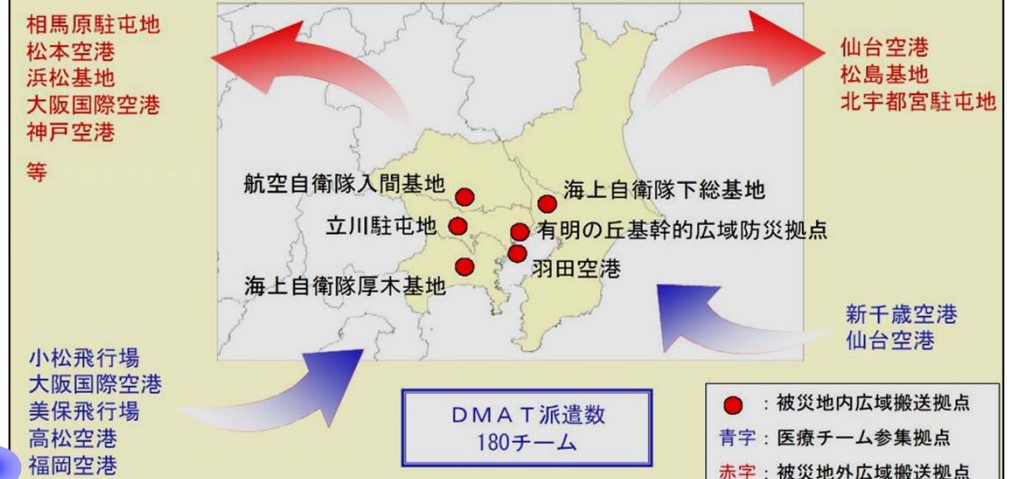
(派遣場所を予め特定しない部隊)

広域医療搬送

広域医療搬送は、関係都県内では対応が困難な重傷者でありかつ、広域後方医療施設へ搬送して治療することにより、救命が可能と判断される患者を対象とする。

※発災後8~72時間の間に搬送

搬送目標患者数
423人



有明の丘基幹的広域防災拠点施設（本部棟）



オペレーションルーム
約960㎡、座席数186(他に打合せスペース84席)
リアプロジェクションモニター(300インチ)



本部会議室
約170㎡、座席数52、リアプロジェクションモニター(100インチ)

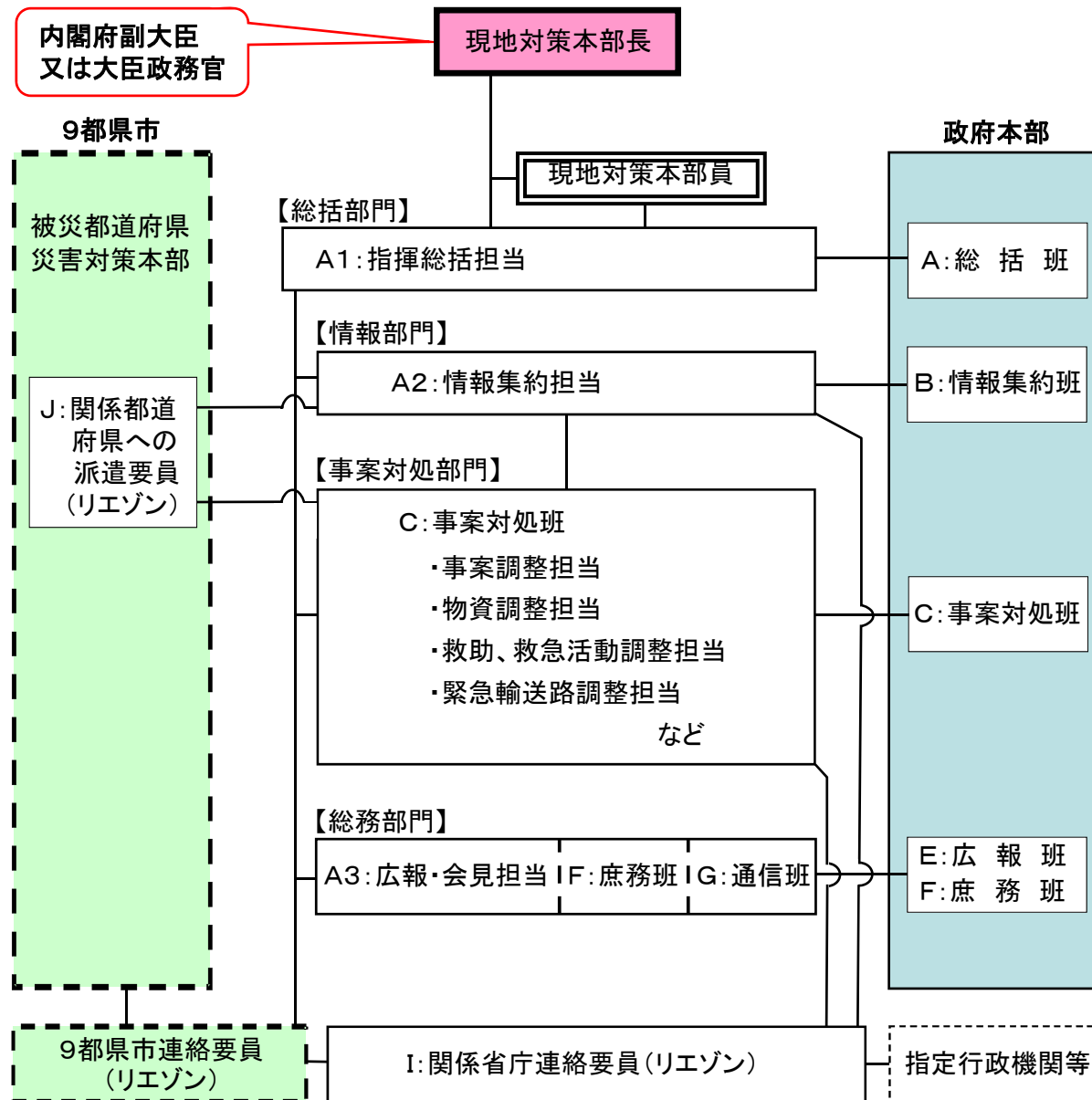


本部棟

建築面積:約6,100m²、延床面積:約9,500m²、地上2階建て
(有明の丘基幹的広域防災拠点施設は本部棟内にある防災施設です)

- 建物全体を免震装置の上に配置(通信専用アンテナ塔を含む)
- 中央防災無線(地上系及び衛星系)で全省庁及び全都道府県と接続
- 映像伝送(東京・埼玉・神奈川・千葉)、テレビ会議、ヘリテレ映像の取込みも可能
- 非常用電源(自家発電)
 - ・発電力1,000kVA×2基(灯油式、無停電装置により自動的に切替え)
 - ・燃料90,000ℓ貯蔵、3日間連続運転可能(燃料追加で7日間まで連続運転可能)
- 要員の休養スペース等
 - ・ロッカー室・シャワー室・仮眠室を配置(発災時は公園施設の一部も仮眠室として利用可能)
- 備蓄食糧、飲用水(ペットボトル)等を、7日間分を目標に備蓄を計画
- 飲用系貯水槽:有効水量約6トﾝ、シャワー系貯水槽:有効水量約133トﾝを設置

緊急災害現地対策本部の基本構成



(平成23年1月14日政府総合図上訓練の様様)

発災時の運用イメージ



医療支援用地運用イメージ
(平成22年11月癌研有明病院救急トリアージ訓練)



緊急災害現地对策本部運用イメージ
(平成23年1月政府総合图上訓練)



癌研有明病院



多目的広場における広域支援部隊等ベースキャンプ設置イメージ
(左:平成16年新潟県中越地震 右:平成22年緊急消防援助隊訓練)



ヘリポート運用イメージ
(平成21年8月自衛隊東部方面隊統合演習)

有明の丘地区 位置図



事業の経緯

- 平成13年 6月 都市再生プロジェクト第1次決定
- 平成14年 7月 整備箇所及び整備手法の決定
(第5回首都圏広域防災拠点整備協議会)
※整備手法は平常時の管理・利用を考慮して都市公園事業に決定
- 平成15年11月 都市計画決定
- 平成16年 2月 都市計画事業承認

東京臨海広域防災公園の目的等

東京臨海広域防災公園

(有明の丘地区)

緊急災害現地対策本部機能(国・九都県市)

- ・首都直下地震等の大規模災害時の首都圏広域防災のヘッドクォーター
- ・災害時医療の支援
- ・広域支援部隊ベースキャンプ 等

平常時における防災拠点機能

- ・関係機関による防災に関する各種訓練
- ・来園者への災害体験、学習、訓練

臨海副都心におけるアメニティ機能

- ・東京臨海部の緑の拠点
- ・情報発信、レクリエーションの提供

発災時対応と平常時対応は不可分

機能分担

連携

東扇島東公園

(東扇島地区)

- ・首都直下地震等の大規模災害時の緊急物資輸送拠点
- ・環境に配慮した、海と緑と人がふれあう緑地

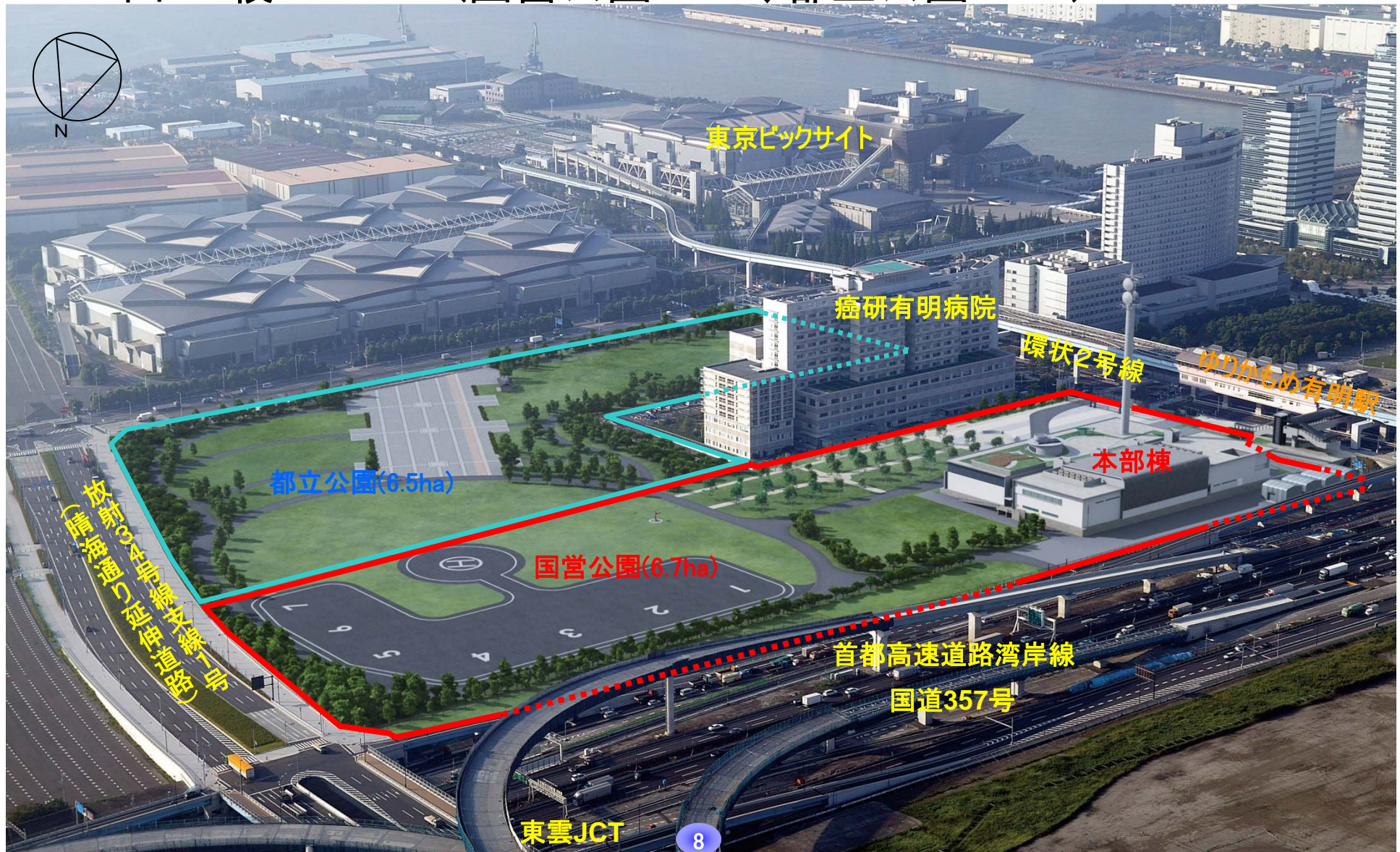
癌研有明病院

- ・災害時後方医療施設(仮設ベット:200床)
- ・4部門30診療科を有する総合病院

東京臨海広域防災公園の概要

位置: 東京都江東区有明三丁目地内

面積: 13.2ha (国営公園6.7ha、都立公園6.5ha)



東京臨海広域防災公園 平面図

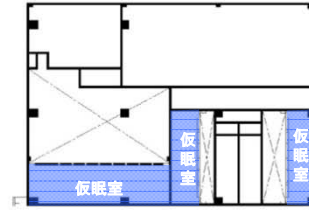


本部棟平面図

1階

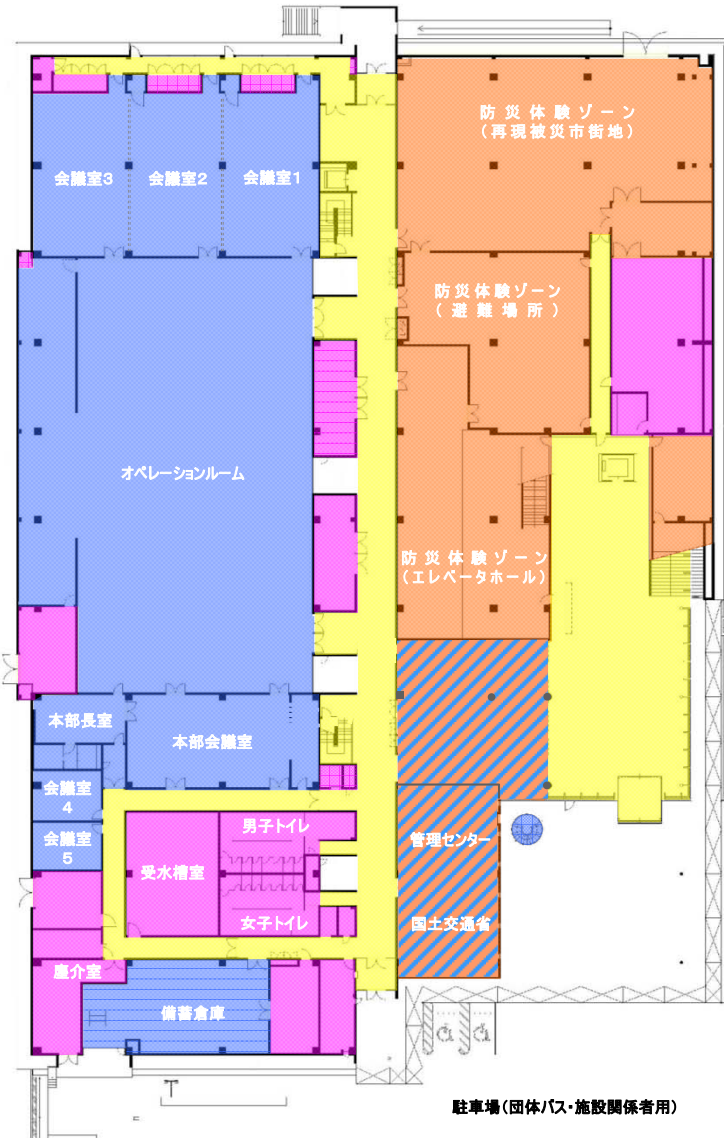
2階

ヘリポート
↑



ロッカー室 ロフト

←
国道357号



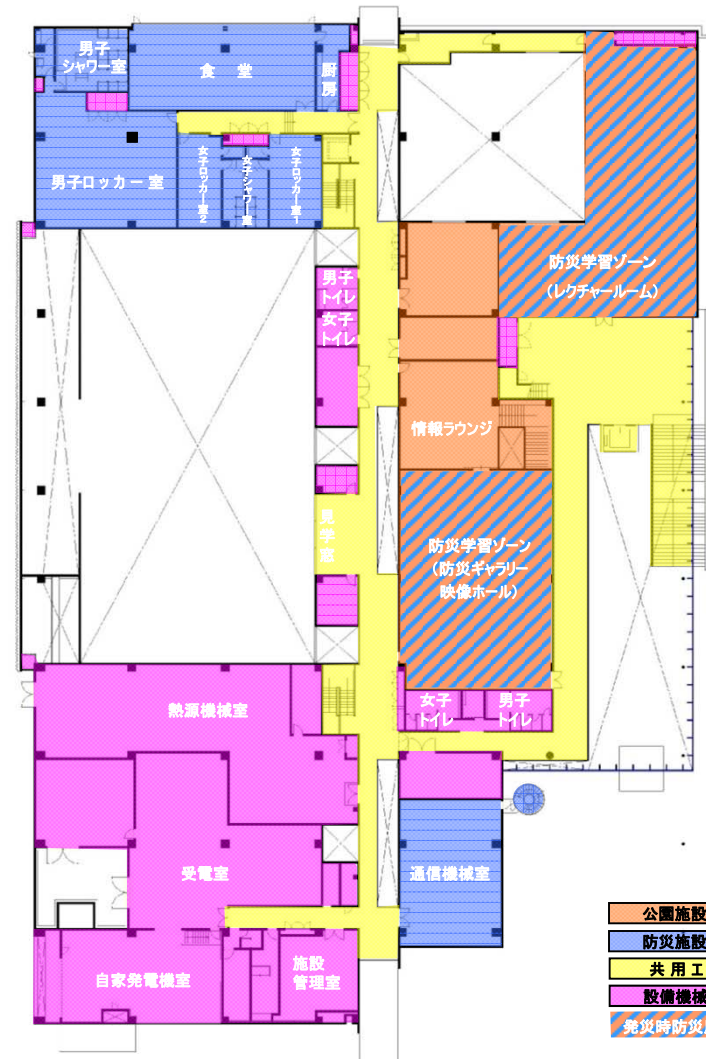
駐車場(団体バス・施設関係者用)



10

↓
ゆりかもめ

→
癌研有明病院



- 公園施設エリア
- 防災施設エリア
- 共用エリア
- 設備機械エリア
- 発災時防災用に転用

防災体験学習施設（本部棟）

防災体験学習施設は、大地震等の大規模災害発生時に市民各々が対処するための災害に関する知識、技術、自助・互助・共助の意識について、さまざまな年齢層の来館者一人ひとりが様々な体験・学習を通して習得できることを目的としています。

（防災体験学習施設は本部棟内にある公園施設です）

1F 防災体験ゾーン 首都直下地震の発災から避難までの流れを体験

**1 エレベーター内
首都直下地震発生**
駅ビルのエレベーターで下降中に震度6強の地震が発生。床が振動し、エレベーターが緊急停止します。



**エントランスホール
体験ゾーン入場待ちスペース
カフェもオープンします。**

**2 従業員通路
狭い通路からの脱出**
エレベーターから降りると、停電した薄暗い従業員通路です。避難誘導灯と非常放送に従って出口を目指します。



エレベーターホール 体験ツアーの出発点
体験ツアー「東京直下72hツアー」の出発ホールで、受付やニンテンドーDSの貸し出しを行います。ツアーの案内映像や首都直下地震の紹介パネルが用意されています。



東京直下72h 地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー
ニンテンドーDS®を使って「防災クイズ」に挑戦
音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、ニンテンドーDS®を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。シネマステーションでは首都直下地震の再現CG映像を上映しています。

**3 再現被災市街地
市街地の危険箇所確認**
音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、ニンテンドーDS®を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。シネマステーションでは首都直下地震の再現CG映像を上映しています。



**4 避難場所
安全の確保**
危険な市街地を抜けて、安全な避難場所にたどり着きました。防災倉庫やテントの展示を見ながら、緊急時どう生き抜くかのヒントを学びます。



ニンテンドーDS、ニンテンドーゾーン nintendo zone、DS/ディーエスは任天堂株式会社の登録商標または商標です。

防災体験学習施設（本部棟）

2F

防災学習ゾーン 映像ホール、防災ギャラリー、情報ラウンジをご利用いただけます

映像ホール メッセージ映像空間

大型プロジェクターによる映像ホール。
2009年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施設用に再構成した「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」を上映いたします。

東京マグニチュード8.0
東京直下72h TOUR

オペレーションルーム見学

発災時に使用されるオペレーションルームを2階にある見学窓からご覧いただくことができます。

情報ラウンジ

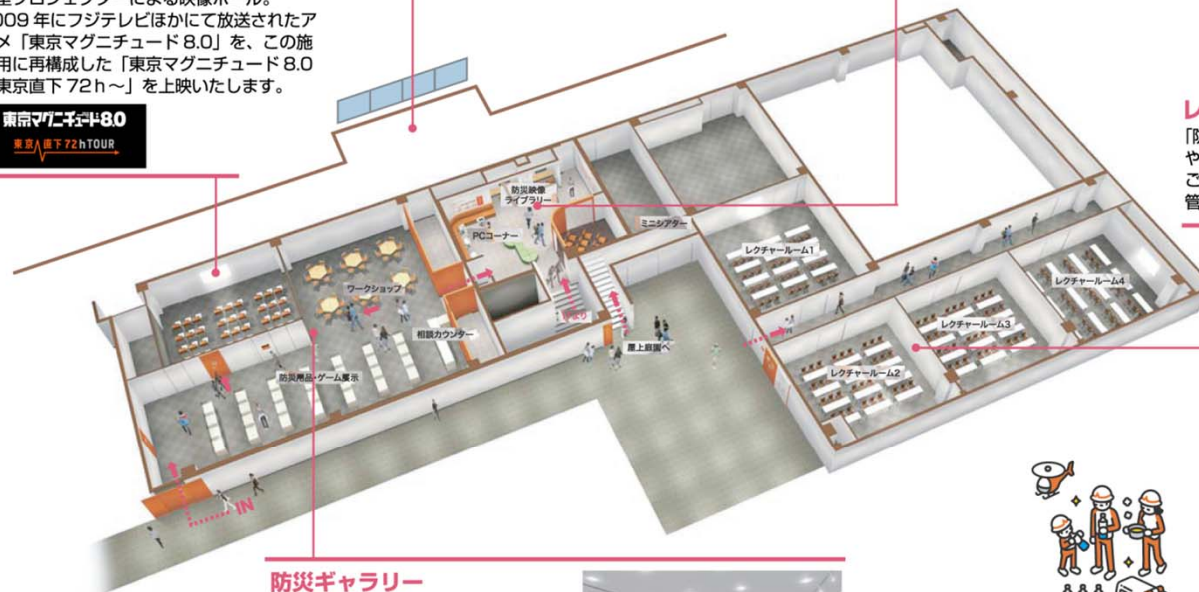
レストスペースを兼ねた 防災情報ライブラリー

首都直下地震をわかりやすく紹介するミニシアターやPCによる防災クイズ、防災学習映像のライブラリーなどが用意されています。



レクチャールーム

「防災」をテーマにした各種学習プログラムや講習会などにご利用いただけます。ご利用の際は別途申込みが必要です。管理センターまでお問い合わせ下さい。



防災ギャラリー 防災用品やゲームの 展示ギャラリー

企画展等にも活用出来るフレキシブルな展示ギャラリー。世界の防災用品や各種防災ゲームが展示されています。



そなエリア東京
防災体験学習施設

防災体験・学習、各種訓練の実施



【防災ヘリ】



【緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練】



【東京都文京区合同総合防災訓練】



【政府総合防災訓練】



【災害対策車両操作訓練】



【深川消防署放水訓練】



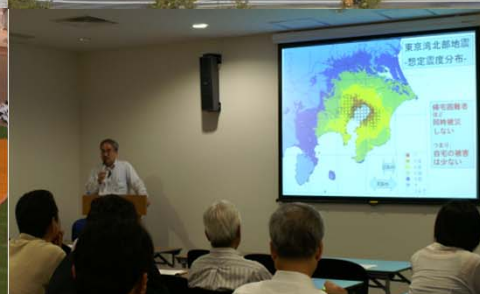
【災害救助犬】



【消火訓練】



【救命訓練】



【防災講演会】



【防災教育チャレンジプラン発表会】



【地震を学ぶ】



【地震体験】



【バケツリレー】

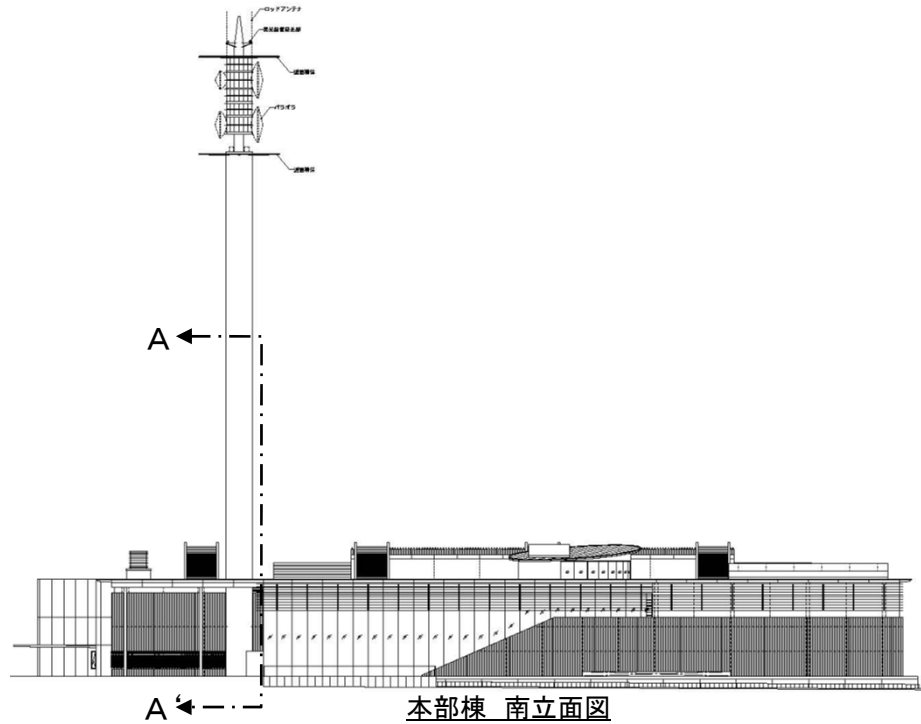


【ジャッキーアップゲーム】

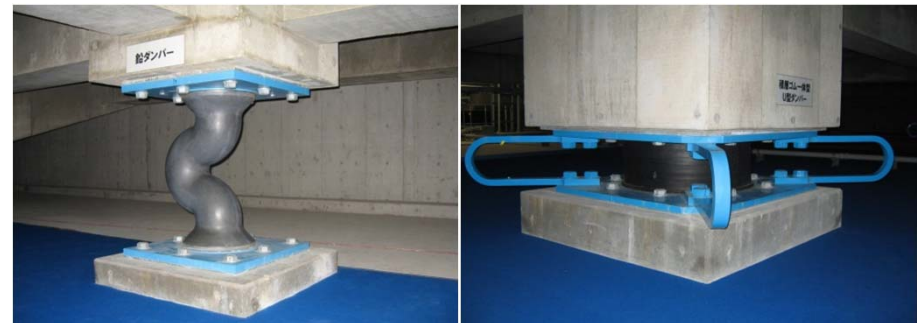


【水消火器でまと当てゲーム】

本部棟の免震構造・液状化対策



本部棟 南立面図



鉛ダンパー16体 (地震エネルギーを熱変換・吸収)

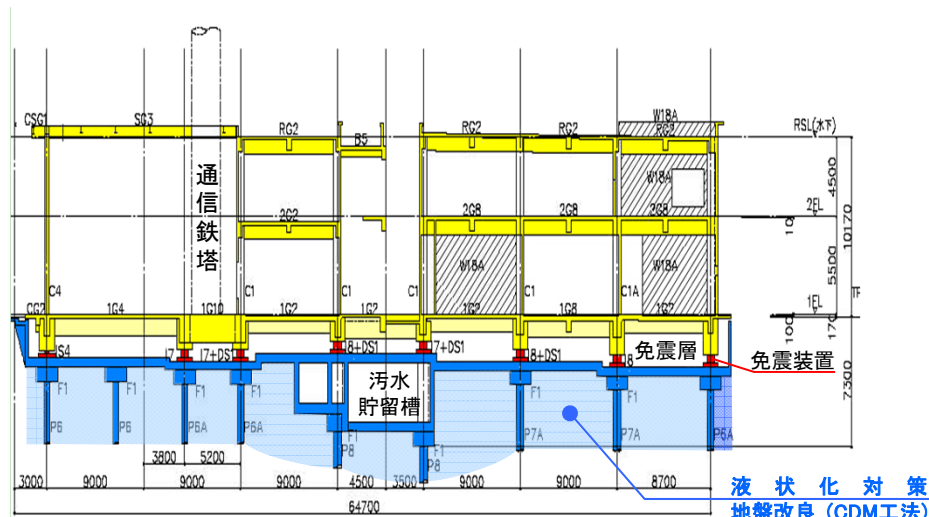
積層ゴム一体型U型ダンパー25体 (荷重支持+減衰)



積層ゴムアイソレータ41体 (荷重支持+長周期化)

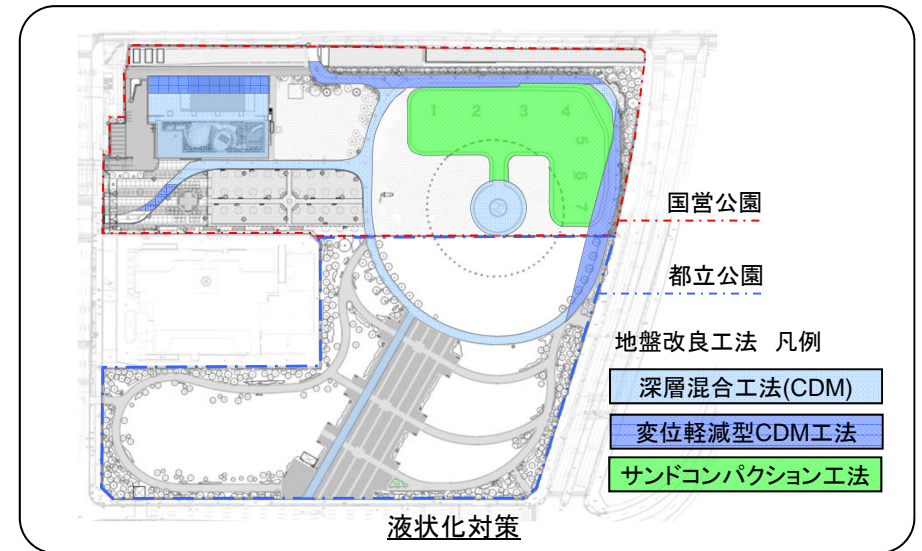
弾性すべり支承25体 (荷重支持+撓動)

免震装置



A~A'断面図

液状化対策
地盤改良(CDM工法)



液状化対策

交通アクセスとご利用案内



東京臨海広域防災公園

ご視察・ご見学にあたって

- 施設内は**禁煙**です。
喫煙は指定場所でのみお願いします。
- 展示施設内は**飲食禁止**です。
- 館内の備品などにお手を触れたり、移動させたりしないでください。
- 内閣府所管の防災専用部分の写真撮影等は可能です。
ただし、記事やブログ等で公開されたい場合は、内閣府による事前確認が必要となります。
- 免震層は一部、梁の低い部分がありますので、ご見学の際にはヘルメットの着用が必要です。
- 一般用の来園・来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
(団体用バス専用駐車場はございます。)
- 大規模な災害発生時には、災害対策基本法に基づく緊急災害現地対策本部が設置され、政府の災害対策の広域拠点となり、臨時閉園いたします。
その際は、係員の指示に従って公園外へ速やかに移動してください。



[最寄駅]

りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分

ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

[公園のご利用に関するお問合せ]

管理センター

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号

TEL 03-3529-2180 FAX 03-3529-2188

[ホームページ]

<http://www.ktr.mlit.go.jp/showa/tokyorinkai/>

[園地の開園時間] 6:00～20:00

休園日：年末年始及び臨時休園日があります。

[防災体験学習施設利用時間] 9:30～17:00(入場は16:30まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し翌日休館)、
年末年始及び臨時休館日があります。

■入園料・入館料：無料■